

## 天野屋市兵衛家文書（2）概要

1: 文書群番号	080011
2: 文書群名	天野屋市兵衛家文書（2）
3: 出所	天野屋
4: 家業・役職等	尼崎中在家町五丁目浜出買人／中在家町生魚問屋
5: 地名	摂津国川辺郡尼崎中在家町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市中在家町
6: 行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
7: 歴史	天野家は近世から近代にかけて中在家町で生魚問屋を営んでいた。 中在家町は元和4年(1618)に開始された尼崎城の築城にともなって、城の西方に移転・建設された町で、生魚問屋をはじめ漁業関係の商人や漁民が多く居住した。同町には当初東部の戒の浜に、宝暦8年(1758)の移転以降は西の大浜筋4丁目に魚市場があり、近海や西国各地から魚が入荷し、尼崎だけでなく大坂・京都にまで出荷するなど、生魚取引の中心地であった。
8: 伝来	市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和55年に寺町大覚寺住職岡本静元氏が史料館へ寄託。同家文書(1)749点、同氏文書(1)2点と本来一体であると考えられる。平成20年6月にボランティアにより再整理、目録の作成が完了した。
9: 史料入手先	岡本静元氏
10: 点数	54点（目録件数39件）
11: 年代	文化3年（1806）～明治3年（1870）
12: 構造と内容	運送問屋株、魚問屋市売りに関する許可願、尼崎藩士発起の頼母子講、借用証文等。金融関係の文書が中心。
13: 関連史料	天野屋市兵衛家文書（2）（文書群番号080011）、天野屋市兵衛氏文書（1）（文書群番号092001）、徳田善五郎氏文書（1）（2）（文書群番号063003）、魚問屋奥田家文書（文書群番号083001）、奥田吉康氏文書（文書群番号077004）など
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央

※本目録は『古文書・近現代目録集1』（『尼崎市史編集目録集12』）掲載の「天野屋市兵衛家文書(2)目録」に新たに差出(編著)・宛先・形態・点数・和暦(年月日)・西暦等の情報を追加しました。  
※本目録を作成するにあたり、本文書群の再整理を行いました(作業期間:平成20年6月)。再整理(文書整理カード採録)は、史料館のボランティアの方々にご協力いただきました。